

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：情報化推進費

事業名 ぎふDX支援センター運営事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総合企画部未来創成局
デジタル戦略推進課

デジタル推進係

電話番号：058-272-1111(内2724)

E-mail：c11178@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,151 千円 (前年度予算額： 2,160 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,160	0	0	0	0	0	0	0	2,160
要求額	2,151	0	0	0	0	0	0	0	2,151
決定額	2,151	0	0	0	0	0	0	0	2,151

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和4年3月に策定した岐阜県DX推進計画の各施策を着実に実施するためには、事務の見直しからデジタル技術を活用した課題解決まで幅広くサポート可能な体制を整備する必要がある。

県では、令和4年7月にぎふDX支援センターを設置して以降、県内のDX推進に関する各種相談に対して、ワンストップで支援を実施している。

(2) 事業内容

市内、市町村、民間企業からのDX推進に関する相談に対して、DX推進に精通した有識者や専門家である「ぎふDXアドバイザー」、民間IT企業などが登録している「ぎふDXサポーター」と連携しながら、相談への専門化からの助言、デジタル技術やデータの有効活用、新システムの導入支援等を実施する。

県、市町村、事業者が実施している相談窓口や研修、補助制度等DX推進に関する支援策をデータベース化し、検索できるシステムを運用する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	486	ぎふD Xアドバイザー、外部人材謝金
旅費	145	ぎふD Xアドバイザー、外部人材費用弁償、職員の業務旅費
使用料及び賃借料	1,520	サービス利用料
合計	2,151	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画

I 3 (2) 庁内のD Xの取組みに対するサポート機能の強化

II (3) 人材育成やサポート機能強化による市町村D X支援

(2) 国・他県の状況

(3) 事業主体及びその妥当性

岐阜県におけるD X推進に関する取組であり、県が主体となって実施することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県内のDX推進に関する各種相談に対して、「ぎふDX支援センター」がワンストップで支援を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

DX推進に関する相談に対して支援する体制整備を目的としているため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	「ぎふDX支援センター」での相談件数 70件 ※2022年7月～2023年3月までの実績
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	「ぎふDX支援センター」での相談件数 80件
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	「ぎふDX支援センター」での相談件数 63件
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	7年度のDX支援センターへの相談件数は、R7.11時点で前年度全体の1.5倍を上回っており、需要が高まっている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	DXに関する各相談内容に対してワンストップで支援することで、相談者の事業化に向けた検討や業務の効率化等に寄与している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	デジタル推進局及び公募職員で複数チームの編成を行うとともに、有識者(DXアドバイザー)や民間IT企業(DXサポーター)とも協力しながら、各相談支援に対応している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 相談内容は多様化・高度化する傾向にあるが、現状はセンター内に実証環境がないため、相談に対して最適な支援や提案ができていない可能性がある。
--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、ぎふDX支援センターを運営し、県内のDX推進に関する各種相談に対して、支援を実施する。
